

事務事業名	信玄公祭り参加・参画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6148						
			所属課室	観光商工課		課長名	塚原浩二						
			所属担当	観光担当		担当者名	三井孝司						
基本政策	基本計画体系	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		09	地域資源を活かした観光の振興	01	一般	0	7	1	0	3	0	2	0
政策		観光基盤の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	なし									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・本市が信玄公の母である大井夫人の出身地であることから、山梨県が実施する信玄公祭りに参加し、市のPRを実施する。 ・今後も同様に継続して行く。			事業費の主な内訳 (22年度)									
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)			
				報償金		195							
				消耗品費		49							
				食料費		32							
				印刷製本費		18							
				その他負担金		440		計		734			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	大井夫人隊を編成し、信玄公祭りに参加する
23年度活動予定	大井夫人隊を編成し、信玄公祭りに参加する
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
信玄公祭りの観光客	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
信玄公祭りを通して信玄公の母である大井夫人の出身地である南アルプス市をPRする	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
知名度アップを図り観光振興につなげる	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 団体数	隊
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 信玄公祭りの集客数	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 信玄公祭りを通して南アルプス市が信玄公の母大井夫人の出身地と知った人数	人
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 信玄公祭りをきっかけとして南アルプス市を訪れた観光客数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	617	734	0	733	733	733	
		事業費計 (A)	千円	617	734	0	733	733	733	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	1	3	3			
		延べ業務時間	時間	10	10	3	10	10			
		人件費計 (B)	千円	45	45	12	40	40	0	0	
		(A) + (B)	千円	662	779	12	773	773	733	0	
活動指標			アイウ	隊	1.0	1.0					
対象指標			アイウ	人	92,000.0	101,000.0					
成果指標			アイウ	人							
上位成果指標			アイ	人							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧甲西町で実施していた大井婦人祭からの継承として参加している。信玄公祭は昭和44年の開催である。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	参加希望者の減少
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	地域のPRとして続けて欲しい

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	地元中学生の参加協力を仰ぐなかで、多くの人が祭りへの興味を持ってもらうよう取り組んでいる。
H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	信玄公祭り参加・参画事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 市のPRに結びついている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 県を代表するイベントに参加し、県の行なう観光施策に協力すると同時に市のPRに結びついている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 対象及び意図が市の行う観光推進施策(南アルプス市の知名度を上げる)と結びついている事から見直す余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 地域の要望及び県の要請に対して行っている事業であるため、見直すことは出来ない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 地域の要望及び県からの要請にこたえる事が出来ない。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 地域の要望及び県からの要請にこたえる事が出来ない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 参加者への謝礼金見直し等が経費圧縮につながる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 手当てを支給されない休日事務となっているため、外部委託を行うよりも人件費の削減に結びついている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 市内全域に大井夫人隊参加募集を行なっている。また、希望者が多い場合は抽選を行なっている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	信玄公に由来のある本市にとって、事業に参画することにより、歴史と文化を知る機会になるとともに観光振興につながる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					